

ボランティア活動の心得

ボランティアにも「ルールと責任」があることを理解してください。
活動は「安全・安心・楽しさ」をめざしています。

1. 利用者の人格を尊重し、ことばづかいや態度においても当然年配者である事を忘れずに「〇〇さん」と名前と呼ぶ。
恥ずかしい思いをさせないように、思いやりと温かさをもって。

利用者の方との個人的な会話の時は、相応の声の大ききで、ゆっくりと。
幼児語は使わないようにし、親しさの中にも尊敬をもって。
2. まず相手が何を求めているかを理解し、自分の考えを押しつけないように。
必ず利用者の意向を聞いてから
「〇〇しましょうか」「〇〇してよろしいですか」等
お茶を出すとき、下げるときをはじめ、何かを手伝う時も。
3. 「やってあげる」、または自己満足の活動ではなく、共に生き、学び合う謙虚な姿勢を大切に。
利用者の自立への意志も考慮して。
4. デイサービスのフロアはボランティアの現場です。
フロアに入られましたらボランティア同士の個人的な話は慎んで、こころと目を利用者に向けて。
(連絡、その他の時にも利用者の方に背中を向けないように……)
別のところでボランティア同士のお話は勿論ご自由にどうぞ。
5. 行けない時は必ず連絡し、責任を持った行動を。
6. 細く長く無理しないで、自分の活動を生活リズムの中に組み入れて。
7. 活動内容や日程について、都合で変更したい時、活動が負担になられた時も遠慮なさらずご相談ください。
ボランティアは決められた約束を守る責任がありますが、同時に、活動を辞める自由もありますので、どうぞ率直にお話ください。
8. ボランティアノートへの記入もよろしくお願いいたします。

